

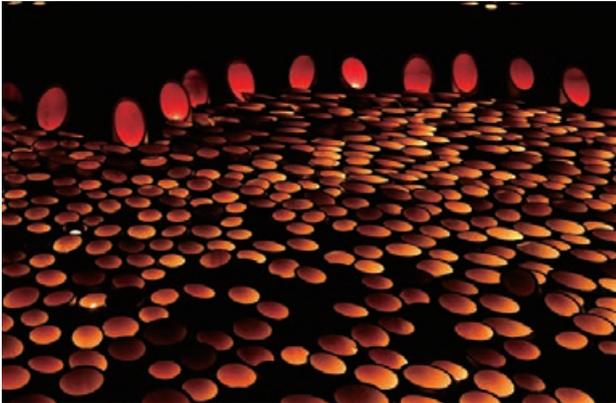


まちの話題

みな、みりよく!
南九州市

～南九州市あかりの道標 ちらん灯彩路～

幽玄に荘厳に



11月12日、知覧武家屋敷庭園群周辺一帯で「ちらん灯彩路」が開催されました。

雨の中での開催にも関わらず、普段、夜には入れない会場に多くの来場者が訪れ、竹や紙でできた約7,000個の灯りで演出される幻想的な雰囲気を楽しんでいました。

また、せせらぎ公園に設置された特設ステージでは、下郡文化財靑壮年団による「神舞」やアンサンブル演奏も披露され、来場者は心に残るひと時を過ごしていました。

～第20回全国地紅茶サミット in 南九州市～

紅茶維新！ Satsumaティーフェス



11月5日と6日の2日間、知覧平和公園自由広場で第20回全国地紅茶サミットが開催されました。

鹿児島県では初めての開催となり、九州各県をはじめ全国各地から36の国産紅茶の店舗が出店し、来場者は専用の薩摩焼きティーカップを片手に紅茶の飲みくらべを楽しみました。

また、会場では紅茶にあうスイーツ販売や蒔絵体験などのワークショップ、紅茶に関する講演会も行われ、多くの人でにぎわいました。

～第33回かわなべ磨崖仏まつりwith農業祭～

3年ぶりの開催



11月13日、清水岩屋公園で「第33回かわなべ磨崖仏まつりwith農業祭」が3年ぶりに開催されました。

開会式のあと、ステージでは、書道パフォーマンス、各幼稚園・各保育園によるお遊戯が披露されたほか、いろは座によるお笑い大衆演芸、清水アキラ氏のトーク&ライブが行われました。

また、玉入れ合戦やお楽しみ大抽選会、ユンボ体験やアクティビティ体験など各種体験コーナーも開催され、会場はたくさんの来場者で賑わいました。

～第14回南九州市駅伝競走大会～

粟ヶ窪地区が総合優勝



12月4日、市駅伝競走大会が11地区の参加で開催されました。粟ヶ窪小前から川辺文化会館までの全12区間19.8kmを選手が走りました。3年ぶりの開催ということで、沿道からは大きな声援が飛び交い、選手達を元気づけていました。また、九玉小児童による和太鼓演奏もあり、大会に華を添えました。

□総合優勝 粟ヶ窪地区 1時間10分17秒

□総合準優勝 上別府地区 1時間10分51秒

□総合第3位 宮脇地区 1時間11分15秒

※区間賞については市ホームページに掲載しています。



～高校生ものづくりコンテスト全国大会～

溶接競技3位入賞



11月13日、岡山県で開催された全国大会に薩南工業高校3年の米倉礼悟さんが九州代表として出場し、見事3位に入賞しました。

米倉さんは、九州大会で優勝した後、「全国優勝」を目指し溶接に打ち込みました。今回の結果に「緊張で思い通りの溶接をすることができず、悔しい思いもありますが、最後まで諦めず作業に取り組めたのは良かった」と話しました。

今後、高いレベルの技術者として日本のものづくりを支える活躍が期待されます。

～江平定さん、宮内健義さん～

法務大臣表彰受賞



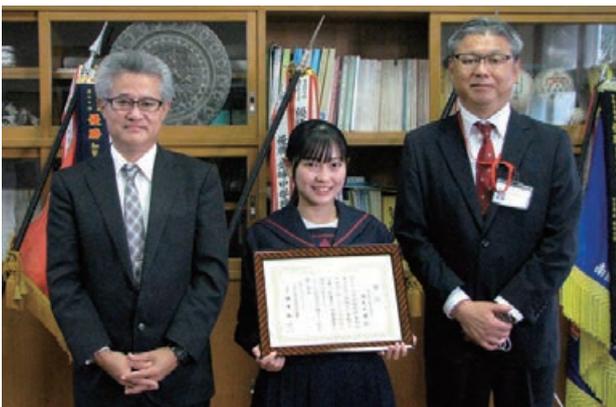
11月15日、江平定さんと宮内健義さんが人権擁護委員に対する法務大臣表彰を受賞し、その伝達式が南九州市役所で行われました。

江平さんは平成23年から、宮内さんは平成24年から人権擁護委員として委嘱されて以来、地域住民の良き相談相手として人権擁護と人権思想の普及高揚に努め、啓発活動の充実発展に寄与いただいております。

このような長年のご功績とご功労が、今回認められたものです。

～知覧中学生が作文コンテストで受賞～

税に関する作文で協議会長賞受賞!



令和4年度「税に関する作文」審査において、知覧中学校2年生の福丸莉愛さんの作品が、薩南地区納税貯蓄組合連合会の川辺地区租税教育推進協議会長賞を受賞しました。

将来を担う中学生が、税に関することをテーマとして作文を書き、税について関心を持ち、また、税について正しい理解を深めていくことは、未来へとつながる貴重な一歩になると思います。

～県肉牛枝肉共進会～

グランドチャンピオン獲得!



11月7日、(株)JA食肉かごしま南薩工場(知覧町)にて、県内で最も優れた肉牛を選ぶ県肉牛枝肉共進会が開催されました。

県内9つの地区から黒牛80頭が出品され、五反田智章さんの出品牛が最優秀賞であるグランドチャンピオンを獲得し、1キロあたり8,500円の高値で競り落とされました。

五反田さんは「高値で取り引きされ驚いている。5年後の北海道全共に出品できるよう頑張りたい」と決意を語ってくれました。



～市民健康づくり講演会～

ゲーム・スマホ依存にならないために



11月27日、「低年齢化する子どものメディア依存 現状と対策」をテーマに、鹿児島市にある増田クリニック増田彰則院長の講演会が開催されました。

講演では「スマホやゲームなどの長時間使用により生活リズムが乱れ、不登校や依存症になって来院する子どもが急増しており、対策が重要である」「メディアの影響から我が子を守るのは親！親が子どもの前でゲームやスマホに熱中している姿をみせない。使用する際はルールを作り、親子で守ることが大切です」と話しました。

～浮辺小学校閉校記念 浮辺ふれあい祭～

心をあわせて最後の発表！



11月20日、浮辺小学校体育館で、「浮辺小学校閉校記念 浮辺ふれあい祭」が小学校と地区公民館との合同で開催されました。

午前中は児童による演劇や学習発表、リコーダー演奏鑑賞会、地区公民館による子ほめ表彰が行われ、児童全員に表彰状が手渡されました。

午後からは、劇団「オモシテガ」による「熱血、わが町演劇部」と題した公演が行われ、児童や地元劇団「いぶぎ」のメンバーも出演し会場は笑いに包まれました。

～「東日本大震災」から学ぶ防災講演会～

震災当時の状況や復興への道のりに涙



11月26日、穎娃文化会館で、「東日本大震災」から学ぶ防災講演会が開催されました。

気仙沼市で酒店を営んでいる菅原文子氏による講演で、東日本大震災当時の状況や復興への道のりが紹介されると、来場者の中には、思いをはせ涙を流す人もいました。

また、気仙沼市の吉田三喜男氏、川村英也氏と市水産振興会員による「津波！その時どうする？」と題したパネルディスカッションでは、操業中の津波からの避難について討論が繰り広げられました。

～おれんじフェスタ～

安心して老いることができるまちを目指して



10月15日、穎娃文化会館でおれんじフェスタが開催され、350人が参加しました。

講演を行った認知症介護研究・研修東京センター 永田久美子副センター長は「認知症になっても支えられるばかりではなく、地域の大事な一員として活躍できる」と話しました。参加者からは、「認知症のイメージが変わりました」「認知症を隠さなくていいんだ」などの声が多く寄せられました。

また、脳トレや運動などの体験コーナーも設置され多くの人でにぎわいました。



～木とふれあい体験教室～

木登り楽しかったー！



11月3日、アグリランドえいで、木とふれあい体験教室が開催されました。これは、子どもたちに体験を通して木と触れ合ってもらいたいと、市森林・林業振興協議会が行ったものです。

市内の小学生22人が参加し、関係団体協力のもと木登り体験やミニ木工教室、木の観察体験のほか、消防工作車・救急車などの見学を行いました。

参加した小学生は「木登り楽しかったー！」など、初めての体験に声をはずませていました。

～牛乳消費拡大キャンペーン～

牛乳についてもっと知ろう



11月21日、光栄保育園にて市酪農振興会主催の牛乳消費拡大キャンペーンが行われました。

この活動は子牛とのふれあいや搾乳、バター作りといった体験を通じ、牛乳を身近に感じてもらうことで、消費拡大につながるよう毎年行われています。

園児たちは、最初は怖がっていましたが「子牛の目がかわいかった」、「バター作りが楽しかった」と話し、牛乳への関心を高めている様子でした。

～フラゴラッド鹿児島が市長へ報告～

バレーボールVリーグ3部参戦



10月27日、サブタウン協定を締結しているフラゴラッド鹿児島男子バレーボールチームの川畑俊輔ゼネラルマネージャー（穎娃町上別府出身）が、2023-24シーズンのV3リーグ参戦を塗木市長に報告しました。

これまでの大会成績だけでなく、積極的な地域活動を高く評価されたチームは、「まずはV3リーグ優勝を目標に挑戦する。今後もご支援をお願いしたい」と話しました。

～みんな元気！体力づくり2022～

いつでも・どこでも・だれでも・気軽にスポーツを！



10月16日、市民体育大会終了後に南九州スポーツクラブ主催のスポーツイベントが3年振りに開催されました。

市民が気軽にスポーツを楽しみ、健康維持を推進するために開催されたこのイベントには、幼児から高齢者まで約100人が参加し、健康チェックや体力テスト、ニュースポーツなどを体験しました。

穎娃中学校3年生の神村 龍生くんは、「体力テストの20mシャトルランがきつかったけどディスクゴルフが面白かった」と話しました。